

## 平成19年12月期 第3四半期財務・業績の概況

平成19年11月6日

上場会社名 ロイヤルホールディングス株式会社 上場取引所 東証一部・福証  
 コード番号 8179 URL <http://www.royal-holdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今井 明夫 TEL (03) 5707-8873  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 藤岡 聡

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成19年12月期第3四半期の連結業績 (平成19年1月1日 ~ 平成19年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年12月期第3四半期	93,131	8.5	3,898	2.5	4,199	1.9	1,501	△28.2
18年12月期第3四半期	85,843	12.6	3,803	0.5	4,122	1.6	2,091	△36.1
18年12月期	116,199	—	4,180	—	4,563	—	1,653	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年12月期第3四半期	38	41	—	—
18年12月期第3四半期	51	37	—	—
18年12月期	40	93	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
19年12月期第3四半期	85,103	54,065	54,065	54,065	60.9	1,326	28	
18年12月期第3四半期	84,385	54,285	54,285	54,285	61.9	1,315	70	
18年12月期	84,992	53,314	53,314	53,314	60.2	1,308	35	

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
19年12月期第3四半期	5,846	△3,436	△3,436	△3,436	△489	△489	9,999	9,999
18年12月期第3四半期	3,691	△1,379	△1,379	△1,379	△5,397	△5,397	7,703	7,703
18年12月期	4,317	△1,237	△1,237	△1,237	△5,257	△5,257	8,611	8,611

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
18年12月期	—	—	20	00	20	00
19年12月期 (実績)	—	—	—	—		
19年12月期 (予想)	—	—	20	00	20	00

3. 平成19年12月期の連結業績予想 (平成19年1月1日 ~ 平成19年12月31日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	124,000	6.7	4,300	2.8	4,600	0.8	1,500	△9.3	38	38

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成19年8月14日に公表しました通期の連結業績予想は、本資料において修正しております。  
 2. 本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等について、及び上記1.に係る業績予想の具体的修正内容は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。  
 3. 本資料の「サマリー情報」、【定性的情報・財務諸表等】 1. 連結経営成績に関する定性的情報、及び 5. (要約) 四半期連結財務諸表 (4)セグメント情報 に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、原油価格の高騰や米国のサブプライム問題に起因する市場の混乱などの懸念材料はあったものの、堅調な企業業績を背景に設備投資が増加し、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、企業の人件費抑制姿勢は依然として根強く、賃金の伸びは低迷しており、加えて、公的負担の増加に伴う可処分所得の減少により、個人消費の回復は引き続き限定的なものにとどまっております。

このような厳しい経営環境のなか、当第3四半期において、売上高は93,131百万円（前年同期比+8.5%）と増収となり、営業利益は3,898百万円（前年同期比+2.5%）、経常利益は4,199百万円（前年同期比+1.9%）と増益となりましたが、四半期純利益は1,501百万円（前年同期比△28.2%）と減益となりました。

事業の種類別セグメントの概況については、次のとおりであります。

## 〈外食事業〉

当社グループの基幹である当事業におきましては、主力のロイヤルホストの回復が遅れていますが、M&Aの効果により、売上高は75,818百万円（前年同期比+7.9%）と伸長いたしました。しかしながら、原油価格の高騰による原価率の上昇や、労働力の需給逼迫に伴う人件費の増加により、営業利益は2,239百万円（前年同期比△1.1%）と減益となりました。

## 〈食品事業〉

食品事業におきましては、製造部門と販売部門の連携強化を図り販売力の向上に努めたほか、夏季の猛暑によりアイスクリーム等の出荷が好調に推移したため、売上高は6,192百万円（前年同期比+11.1%）となりました。また、損益面につきましても、製造部門全体の生産性向上に注力しました結果、営業利益は518百万円（前年同期比+19.2%）と増益となりました。

## 〈機内食事業〉

機内食事業におきましては、関西国際空港を中心に底堅く推移し、新規就航路線に係る受注獲得等もあり、売上高は4,718百万円（前年同期比+4.1%）と増収となりました。また、損益面につきましても、引き続き効率性の高い経営を維持しており、営業利益は856百万円（前年同期比+12.2%）と高い収益性を維持しております。

## 〈ホテル事業〉

全国に展開しております「リッチモンドホテル（10月1日より「ロイネットホテル」から名称変更）」が好調な客室稼働率を維持していることに加え、新設のホテルも好調に推移していることから、売上高は6,400百万円（前年同期比+16.9%）と増収となりました。しかしながら、損益面につきましても、新規にオープンしたホテルの開店費用及び上記のホテル名称変更に伴う費用を計上したことにより、営業利益は1,048百万円（前年同期比△0.9%）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期において、総資産は、季節的要因によって売掛金等の売上債権及びたな卸資産が、買掛金等の仕入債務と両建てで減少した一方で、子会社の新規連結、投資有価証券の取得等により前連結会計年度末比111百万円増加し85,103百万円となりました。負債は、上記仕入債務の減少等により前連結会計年度末比640百万円減少し31,037百万円となりました。純資産は、四半期純利益の計上及び剰余金の配当等により前連結会計年度末比751百万円増加し54,065百万円となりました。また、自己資本比率は0.7ポイント上昇し60.9%となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

## (1) 業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等

「サマリー情報」に記載した平成19年12月期の連結業績予想は、当社グループが現時点までに入手可能な情報から判断して、合理的であるとした一定の条件に基づいたものです。実際の業績は、「天候」「景気動向」等の様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

また、当社グループでは、第1四半期（1～3月）の売上高・利益が通期の売上高・利益に占める割合が相対的に低くなり、夏季繁忙期を含む第3四半期（7～9月）の売上高・利益が通期の売上高・利益に占める割合が最も高くなる傾向にあります。

## (2) 業績予想の修正内容

当第3四半期において、夏季繁忙期の業績が外食事業を中心に当初計画を下回る結果となり、現在の趨勢が継続した場合、平成19年8月14日に公表した通期連結業績予想を達成することは困難である見通しと判断されたため、業績予想を修正いたしました。

通期の連結業績の見通しは、売上高は124,000百万円（前期比+6.7%）、営業利益は4,300百万円（前期比+2.8%）、経常利益は4,600百万円（前期比+0.8%）、当期純利益は1,500百万円（前期比△9.3%）となる見込みであります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準等について一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(固定資産の減価償却方法の変更)

平成19年度の法人税法の改正（「所得税法等の一部を改正する法律」（平成19年3月30日 法律第6号）及び「法人税法施行令の一部を改正する政令」（平成19年3月30日 政令第83号））に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産の減価償却の方法を、改正後の法人税法に基づく方法と同一の方法に変更しております。

なお、従来、連結子会社である(株)テンコーポレーションの有形固定資産の減価償却の方法は定額法によっておりましたが、上記変更に合わせて、親子会社間の会計処理を統一するため、建物（建物附属設備を除く）を除き定率法へ変更いたしました。

これらの変更による営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科目	前年同四半期末 (平成18年12月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成19年12月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成18年12月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
<b>(資産の部)</b>					
<b>I 流動資産</b>					
1 現金及び預金	7,703	9,999	2,296	29.8	8,611
2 受取手形 及び売掛金	4,583	3,528	△1,054	△23.0	4,348
3 有価証券	300	39	△260	△86.7	339
4 たな卸資産	2,036	1,552	△483	△23.7	2,084
5 繰延税金資産	797	706	△91	△11.4	491
6 その他	2,948	3,018	69	2.3	3,776
貸倒引当金	△12	△3	8	△72.2	△9
流動資産合計	18,357	18,842	484	2.6	19,642
<b>II 固定資産</b>					
1 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	14,783	13,854	△928	△6.3	14,361
(2) 機械装置 及び運搬具	1,247	1,086	△161	△13.0	1,136
(3) 工具器具 及び備品	3,344	3,542	197	5.9	3,155
(4) 土地	12,691	12,728	36	0.3	12,676
(5) 建設仮勘定	84	86	1	1.6	15
有形固定資産合計	32,151	31,297	△854	△2.7	31,346
2 無形固定資産					
(1) のれん	—	1,920	1,920	—	—
(2) 連結調整勘定	1,683	—	△1,683	—	1,584
(3) その他	756	691	△64	△8.5	755
無形固定資産合計	2,440	2,612	172	7.1	2,339
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	6,494	7,613	1,119	17.2	6,914
(2) 長期貸付金	29	219	190	640.0	27
(3) 差入保証金	23,202	22,943	△258	△1.1	22,967
(4) 繰延税金資産	1,418	1,353	△64	△4.6	1,400
(5) その他	581	408	△173	△29.9	791
貸倒引当金	△290	△186	103	△35.6	△437
投資その他の 資産合計	31,436	32,351	915	2.9	31,663
固定資産合計	66,028	66,261	232	0.4	65,349
資産合計	84,385	85,103	717	0.9	84,992

(単位：百万円、%)

科目	前年同四半期末 (平成18年12月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成19年12月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成18年12月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
<b>(負債の部)</b>					
<b>I 流動負債</b>					
1 支払手形 及び買掛金	4,735	3,531	△1,203	△25.4	4,528
2 短期借入金	10,689	9,930	△759	△7.1	8,299
3 一年内返済 長期借入金	2,458	2,548	89	3.7	2,860
4 未払法人税等	757	1,116	358	47.3	1,039
5 賞与引当金	—	838	838	—	314
6 役員賞与引当金	—	43	43	—	35
7 ポイントカード 引当金	218	201	△17	△7.9	213
8 株主優待費用 引当金	79	99	19	24.8	125
9 店舗撤退損失 引当金	35	60	25	73.5	30
10 工場解体費用 引当金	—	99	99	—	99
11 その他	6,682	5,992	△690	△10.3	6,425
流動負債合計	25,657	24,460	△1,196	△4.7	23,972
<b>II 固定負債</b>					
1 長期借入金	3,111	5,105	1,994	64.1	6,179
2 退職給付引当金	254	653	399	157.2	259
3 繰延税金負債	144	—	△144	—	349
4 その他	932	817	△114	△12.3	917
固定負債合計	4,442	6,577	2,134	48.0	7,705
負債合計	30,100	31,037	937	3.1	31,677
<b>(純資産の部)</b>					
<b>I 株主資本</b>					
1 資本金	13,676	13,676	—	—	13,676
2 資本剰余金	23,942	23,942	0	0.0	23,942
3 利益剰余金	16,923	17,204	280	1.7	16,484
4 自己株式	△3,185	△4,126	△941	29.6	△4,125
株主資本合計	51,356	50,696	△660	△1.3	49,978
<b>II 評価・換算差額等</b>					
1 その他有価証券 評価差額金	852	1,134	282	33.1	1,153
2 為替換算調整勘定	—	0	0	—	—
評価・換算差額等 合計	852	1,134	282	33.1	1,153
<b>III 少数株主持分</b>					
	2,076	2,234	158	7.6	2,182
純資産合計	54,285	54,065	△219	△0.4	53,314
負債純資産合計	84,385	85,103	717	0.9	84,992

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	前年同四半期 (平成18年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	増減		(参考) 前期 (平成18年12月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
<b>I 売上高</b>	85,030	92,213	7,182	8.4	115,069
<b>II 売上原価</b>	28,763	30,965	2,202	7.7	39,461
売上総利益	56,266	61,247	4,980	8.9	75,608
<b>III その他の営業収入</b>	813	918	104	12.9	1,129
営業総利益	57,080	62,165	5,085	8.9	76,738
<b>IV 販売費 及び一般管理費</b>	53,276	58,267	4,991	9.4	72,557
営業利益	3,803	3,898	94	2.5	4,180
<b>V 営業外収益</b>	527	557	29	5.6	692
1 受取利息 及び配当金	89	104	14	16.0	101
2 持分法による 投資利益	15	116	100	651.6	38
3 その他	422	337	△85	△20.2	552
<b>VI 営業外費用</b>	208	256	47	22.8	309
1 支払利息	98	157	58	60.0	146
2 その他	110	99	△11	△10.3	163
経常利益	4,122	4,199	76	1.9	4,563
<b>VII 特別利益</b>	691	173	△518	△75.0	1,268
1 受取営業補償金	—	173	173	—	—
2 投資有価証券 売却益	2	—	△2	—	56
3 固定資産売却益	20	—	△20	—	535
4 土地収用益	98	—	△98	—	98
5 賃貸借契約等 受取解約金	128	—	△128	—	136
6 店舗賃借権等 売却益	442	—	△442	—	442
<b>VIII 特別損失</b>	442	701	258	58.4	1,260
1 固定資産売却損	145	253	107	73.9	195
2 減損損失	161	108	△53	△32.9	782
3 店舗撤退損失 引当金繰入額	23	60	37	163.6	30
4 工場解体費用 引当金繰入額	—	—	—	—	99
5 品質衛生管理費用	—	53	53	—	—
6 過年度株主優待 費用引当金繰入額	112	—	△112	—	113
7 持分変動損失	—	127	127	—	—
8 その他	—	97	97	—	38
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	4,371	3,670	△700	△16.0	4,571
法人税、住民税 及び事業税	1,598	1,889	291	18.2	1,806
法人税等調整額	430	81	△349	△81.2	754
少数株主利益	250	199	△51	△20.4	356
四半期(当期) 純利益	2,091	1,501	△590	△28.2	1,653

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成18年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成18年12月期)
区分	金額	金額	金額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前 四半期(当期)純利益	4,371	3,670	4,571
減価償却費	2,138	2,332	2,985
減損損失	161	108	782
のれん償却額	—	357	—
連結調整勘定償却額	191	—	290
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16	△2	128
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	502	314
株主優待費用引当金の増減額 (△は減少)	79	△26	125
工場解体費用引当金の増減額 (△は減少)	—	—	99
店舗撤退損失引当金繰入額	23	60	30
受取利息及び配当金	△89	△104	△101
支払利息	98	157	146
持分法による投資利益	△15	△116	△38
固定資産売却益	△20	—	△535
固定資産売却損	145	253	195
持分変動損失	—	127	—
投資有価証券売却益	△2	—	△56
投資有価証券評価損	—	—	18
店舗賃借権等売却益	△442	—	△442
売上債権の増減額(△は増加)	△7	△44	227
たな卸資産の増減額(△は増加)	213	126	165
仕入債務の増減額(△は減少)	119	△223	△87
未払金の増減額(△は減少)	△435	99	△103
その他	△68	25	△1,496
小計	6,444	7,304	7,221
利息及び配当金の受取額	166	153	180
利息の支払額	△103	△165	△135
法人税等の還付額	29	481	32
法人税等の支払額	△2,844	△1,927	△2,982
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,691	5,846	4,317



(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成18年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成18年12月期)
区分	金額	金額	金額
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△1,895	△2,409	△2,604
有形固定資産の売却による収入	26	21	563
有価証券の償還による収入	—	300	—
投資有価証券の取得による支出	△266	△1,011	△267
投資有価証券の売却による収入	6	108	135
子会社株式の追加取得による支出	—	△68	—
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出	△89	△541	△89
差入保証金の純増減額 (△は増加)	578	237	1,040
店舗撤退等による支出	△72	△58	△91
店舗賃借権等の売却による収入	455	—	455
その他	△121	△14	△379
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,379	△3,436	△1,237
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,456	1,630	△3,846
長期借入れによる収入	1,200	1,200	5,300
長期借入金の返済による支出	△2,285	△2,385	△2,915
自己株式の取得による支出	△2,021	△2	△2,961
配当金の支払額	△817	△781	△817
少数株主への配当金の支払額	△17	△150	△17
その他	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,397	△489	△5,257
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	—	0	—
<b>V 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	△3,085	1,920	△2,177
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	10,789	8,611	10,789
<b>VII 連結の範囲変更に伴う 現金及び現金同等物の減少額</b>	—	△532	—
<b>VIII 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高</b>	7,703	9,999	8,611

(4) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前年同四半期 (平成18年12月期第3四半期)

(単位：百万円)

	外食 事業	食品 事業	機内食 事業	ホテル 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	70,259	5,574	4,533	5,475	85,843	(—)	85,843
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	11	6,823	6	76	6,918	(6,918)	—
計	70,271	12,398	4,540	5,551	92,761	(6,918)	85,843
営業費用	68,005	11,963	3,777	4,493	88,239	(6,199)	82,040
営業利益	2,265	435	763	1,057	4,522	(718)	3,803

当四半期 (平成19年12月期第3四半期)

(単位：百万円)

	外食 事業	食品 事業	機内食 事業	ホテル 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	75,818	6,192	4,718	6,400	93,131	(—)	93,131
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	195	6,593	0	85	6,875	(6,875)	—
計	76,014	12,786	4,718	6,486	100,006	(6,875)	93,131
営業費用	73,774	12,267	3,862	5,437	95,342	(6,109)	89,233
営業利益	2,239	518	856	1,048	4,663	(765)	3,898

(参考) 前期 (平成18年12月期)

(単位：百万円)

	外食 事業	食品 事業	機内食 事業	ホテル 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	94,396	8,228	6,106	7,467	116,199	(—)	116,199
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	77	8,314	8	103	8,503	(8,503)	—
計	94,474	16,542	6,114	7,570	124,702	(8,503)	116,199
営業費用	92,158	16,078	5,114	6,210	119,562	(7,543)	112,018
営業利益	2,315	464	1,000	1,359	5,140	(959)	4,180